

八

高

関東にお住まいの
八高卒業生の皆様へ
やっちゃん、ながまの
コミュニティのページです

関

東

どつと混む

熊本県立八代高等学校 関東地区同窓会

八代高校同窓会 会報「道」

関東地区同窓会 原稿

「会の活動について」と
「加藤清正ゆかりの地探訪記」の 二部構成です。

2021.8.31

八代高校
関東地区同窓会
広報班

八代高校同窓会会報「道」 関東地区同窓会

私たち関東地区同窓会は、関東一都六県とその近県の卒業生、旧職員等を会員として活動しています。
会員はおよそ2千4百名で、学年幹事会を開催して運営しております。
活動は「総会・祝宴」「倶楽部活動」等を行っており、ホームページ、facebook等を使い分けて情報交換し、交流の充実を図っております。

【会の活動について】

関東地区同窓会では例年「総会・祝宴」やゴルフ、スポーツ観戦、観劇、鑑賞会、飲み会など「有志の倶楽部活動」などを行ってきました。

しかし現在は、2020年より続くコロナ禍のため緊急事態宣言と、まん延防止等重点措置の発令を繰り返されている状況です。

その為、会の活動は役員、当番幹事等で、メール、SNS等を使い検討し、2021年も前年に続き、集まって行うすべての活動を中止しております。

特に総会・祝宴は楽しみにしている方が多数おられますが、我々がクラスターになる訳には行かないので中止し、皆さまには我慢していただいております。

なお、活動休止に伴い会費について、寄付は受付けていますが徴収は行っておりません。

今後について基本的には、ウィズコロナ時代に応じた医療体制の充実、治療薬やより良いワクチンの開発、治療方法の確立などが出来るまでは、集会等は控えるべきと考えられます。

来年には事態が好転することを期待し、2022年の総会・祝宴、各種活動の準備をしていきたいと考えております。

【通信・連絡】

関東地区同窓会のホームページ「八高関東どっと混む」は、各種ご案内・報告事項などを掲載しております。

「<http://www.85kantou.com>」にアクセスしてご覧ください。

また、ニュース、お知らせなどはfacebook

「<https://www.facebook.com/85kantou/>」に随時掲載しております。

関東地区での住所変更は、ホームページ

「<http://www.85kantou.com>」をご利用ください。

【東京の「加藤清正ゆかりの地」探訪記】

目次

【東京の「加藤清正ゆかりの地」探訪記】

- テーマ選定の経緯
- ご理解いただきたいこと

【加藤清正】

【池上本門寺】

- 池上本門寺の石段
- 加藤清正供養塔
- 加藤清正室(夫人)層塔

【覚林寺】

- 清正公堂

【明治神宮】

- 清正井

●テーマ選定の経緯

過日「道」の原稿依頼を受けましたが、私共関東地区同窓会は、二年連続で、総会・祝宴をはじめとするすべての活動を停止しております。

そのため、記事の作成には、ほとんど困り果ててしまいました。

しかし、幸い関東には様々な熊本関連の史跡等がありますので、去年の八代宮の兄弟宮、鎌倉宮の紹介に続き、今年もゆかりの地探訪の内容といたしました。

【東京の「加藤清正ゆかりの地」探訪記】

●ご理解いただきたいこと（主旨と取材活動について）

本記事は史跡案内の内容ですが、豆知識・知識補充の目的で書いており、旅行や観光、お出かけ等をお勧めするものではありません。現在コロナ禍なので、これをきっかけに ネット検索など利用して、セルフのオンライン・ツアー等でお楽しみいただければ幸いです。

また、写真や文章は、ネットや刊行物等から拝借する事は著作権等の問題があるので、現地で写真を撮り、調べて文章を作る為に取材活動を行いました。

ただ、緊急事態宣言下での活動となり、慎重に行うべきであるため、担当者の取材活動等も、出来る限りの防疫対策を取り、政府、自治体等の指示・要請等に応じた形で行なうために、ルールを決めて実行しました。

決して指示・要請等を無視した活動ではない事をご理解ください。

(担当者のコロナ感染はありませんでした)

取材・打合せ等に関する広報班のルール設定

- ①広報班で集まる事はせず、連絡、打合せ等は各種Webシステムを利用する事
- ②取材等の活動は比較的すいている平日に担当者一人で行う事
- ③担当者は、越境移動や長時間の電車移動を避け、目的地以外への立ち寄り等をしない事
- ④取材中は防疫対策を徹底し、問題に直面した場合は直ちに退避する事
- ⑤取材活動等は、ワクチン接種完了者が行う事

結果、取材は筆者が一人で、ワクチン接種完了後の8/24-26に行ないました。

場所は筆者の自宅から電車で、乗換え一回まで、各乗車時間20分以内(濃厚接触回避)の条件で、熊本関連の史跡等を探したところいくつか見付き「池上本門寺」「白金覚林寺」「明治神宮」の三か所の取材を行う事にしました(八代関連は見つからず)。

調べるといずれも加藤清正の関連史跡であったので、今回は「加藤清正ゆかりの地」をテーマにまとめました。

【加藤清正】

加藤清正は、肥後熊本藩の初代藩主で、1607年(慶長12年)熊本城の完成に伴い「隈本」を「熊本」に改名させた言われています。

清正は 八代とも関係が深く 干拓事業などを行い、治水のために1608年(慶長13年)に 球磨川下流に、石造の斜め堰「八の字堰」を 築造したそうです。

八の字堰は、1968年(昭和43年)に 可動堰である 遙拝堰が 築造されるまで、350年以上も 球磨川の治水と利水の要として機能していたとの事…スゴイ！

[<https://from-doboku.jp/n/n4b7e877817fb> より]

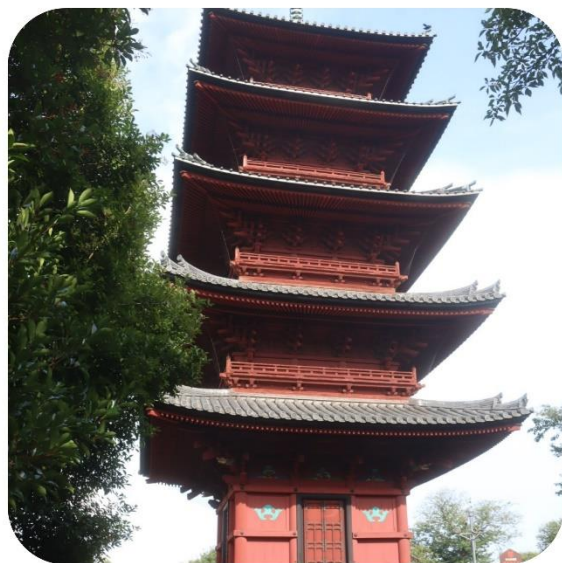
都内には、肥後熊本藩の屋敷跡などの加藤清正ゆかりの地が多くあります。

また加藤清正が熱心に信仰した日蓮宗の寺院も多くあり、加藤清正に関する史跡等が少なからず残されています。

ちなみに熊本市の本妙寺は、清正が摂津にて建立し、後に熊本に移したとのことです。

【池上本門寺】

東京都大田区の池上本門寺は日蓮宗の大本山で、加藤清正は熱心な日蓮宗の信者だったため縁が深く、関連する文化財が幾つか残されています。



池上本門寺関連ホームページ

・池上本門寺

<https://www.honmonji.jp/>

・大田区の文化財、史跡

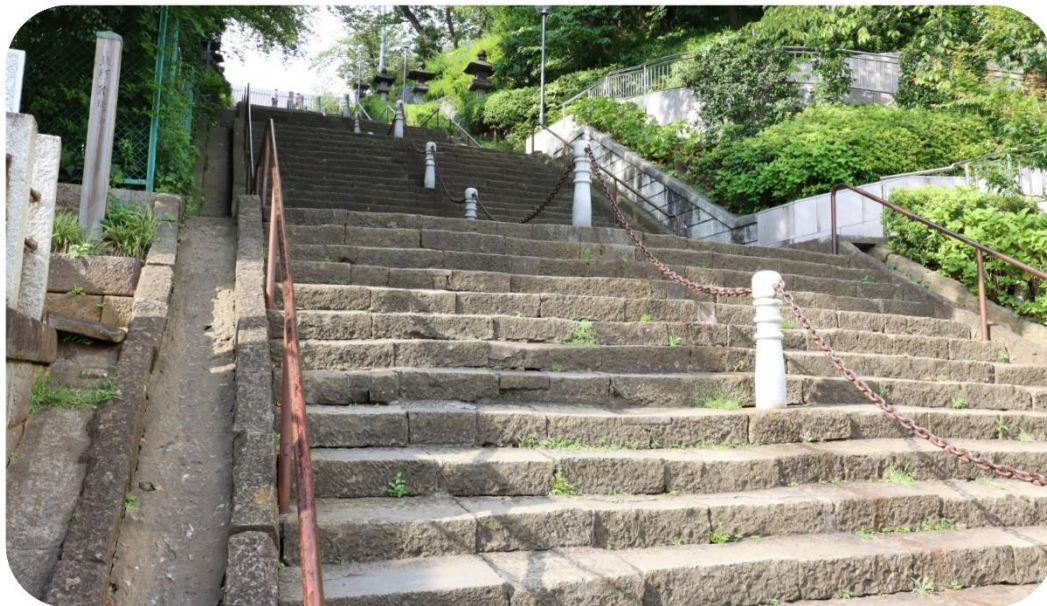
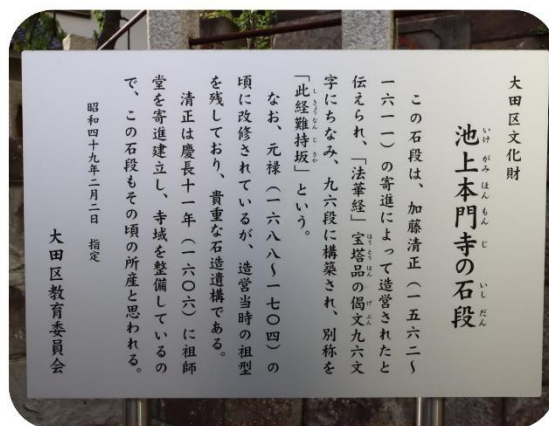
<https://www.city.ota.tokyo.jp/shisetsu/rekishi/ikegami/index.html>



【池上本門寺】

●池上本門寺の石段（大田区文化財）

参道から 総門をくぐり 山頂の仁王門へと つづく 石段は、
加藤清正の 寄進により 造営されたと 伝えられています。
石段は 法華經の 宝塔品偈分文96文字にちなみ 96段に構
築され、そのため「此經難持坂(しきょうなんじさか)」とも呼ば
れているそうです。[現地案内板より]



石段は 上まであがるとビルの5階に相当する 高さになる
そうで…休まず あがるのは、だいぶ キツイ！

【池上本門寺】

●加藤清正供養塔(大田区文化財)

供養塔は、加藤清正の息女で、徳川頼宜夫人の瑤林院が清正の38回忌(1649年)に造立したものだそうです。

[現地案内板より]

ただ、供養塔は案内図などには書かれておらず、鐘楼の横から入り、霊宝殿裏の場所にあるためお参りする人の目には触れず、あまり人が来ない…とのことでした。



広くて 人の多い 境内の すぐそばなのに 静かなので、
清正公を 偲ぶには 良い場所なのかもしれません。

【池上本門寺】

●加藤清正室(夫人)層塔(大田区文化財)

層塔は、清正夫人の正応院が生前に死後の供養(逆修供養)の為に江戸時代初期の1626年に建てられた石塔です。[大田区ホームページより]

現在、層を数えると8段ですが、明治時代の写真を見ると11段だったようです…なぜ減ったのでしょうか？

帰りに 境内の総合案内所で、御朱印を いただきました。
最近 は 書いてある紙を 売っているところが多いのですが、
ここはお坊さんが その場で 御朱印帳に 書いてくれます。
値段表示が なかったので「いくらですか」と 聞いたら、
「いくらでも結構です、お好きな額を お納めください」との
返事…で千円出しました。なぜか 得した気分です。

[8/24東急池上線、乗車時間3分]



PS.
ちなみに、この墓所には
力道山のお墓もあり、
命日にはプロレスラーが
お参りに 来られるそうです。

【覚林寺】

●清正公堂

覚林寺は、日蓮宗のお寺で、
清正公の守護仏である 釈迦牟尼仏を 本尊とした 本堂があり、
本堂の他に 清正公をお祀りした「清正公堂」があります。
5月4日,5日には、端午の節句「清正公大祭」が開催されるそうです。
[<https://edokara.tokyo/conts/2017/02/04/608> より]



覚林寺関連ホームページ

・覚林寺と清正

<https://edokara.tokyo/conts/2017/02/04/608>

・東京の仏閣-覚林寺

<http://fishaqua.gozaru.jp/tokyo/minato/kakurinji/text.htm>



【覚林寺】

皇居の 桜田門から 延びる 桜田通り(国道一号)の地下鉄白金高輪駅の近くに 清正公前(せいしょうこうまえ)という 交差点が あります。

この交差点名は、目の 覚林寺(日蓮宗)が 加藤清正を お祀りしている事に 由来するそうです。

覚林寺は 肥後熊本藩中屋敷に 加藤清正によって 建てられたと言われています。



覚林寺は都心のお寺で、周りに高層ビルが多数あります。
また、近年の羽田空港の飛行ルート変更により上空を5～10分
おきぐらいに飛行機が通るため、ちっと せからしかったです。

[8/25京浜東北線＋都営三田線、乗車時間14分＋3分]

【明治神宮】

明治神宮はJR原宿駅が最寄りの駅です。

広大な敷地の一部に肥後藩加藤家下屋敷跡が含まれており、そこには清正も住んでいたようです。



明治神宮清正井関連ホームページ

・明治神宮

<https://www.meijijingu.or.jp/>

・神宮御苑-清正井

<https://www.meijijingu.or.jp/midokoro/gyoen/>

・東京トリップ-清正井

<https://tokyo-trip.org/spot/visiting/tk0238/>



【明治神宮】

●清正井

清正公が 肥後藩下屋敷に 引いたと言われる 井戸は「清正井」と呼ばれ、今もこんこんと水が湧き出ています。

江戸時代には水が湧き出る井戸は ほとんど無く、不思議な井戸として有名だったようです。

この井戸は水源に向けて横掘りされているようで、非常に高度な技術が使われているそうです。

[明治神宮ホームページおよび、<https://tokyo-trip.org/spot/visiting/tk0238/> より]



「清正井」は近年、関東屈指のパワースポットとして、観光客が押し寄せ、平成の終わりごろには5時間待ちの行列ができた日もあったとか…そのせいか、井戸のある明治神宮御苑は、コロナ対応のため休苑されていて、残念ながら見学は出来ませんでした。

【明治神宮】



それにしても

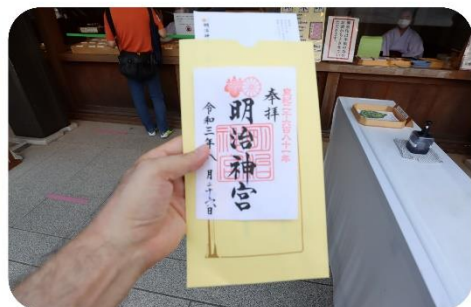
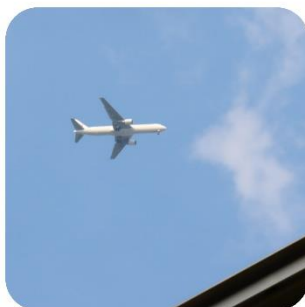
明治神宮は広い！

武蔵野の森を模して造成された敷地は 自然がたっぷり
で いやされます。

…でも覚林寺と同様、多い時には5分おきくらいに上空を飛行機が通り、さらに入口付近の南参道は山手線の電車の騒音もあり、せっかくの静かな雰囲気が出ない感じがします。

まあ、飛行機も山手線にも時々乗ってますけどね… (^_^;;

[8/26京浜東北線+山手線、乗車時間10分+15分]



【東京の「加藤清正ゆかりの地」探訪記】

今回は三日かけて加藤清正ゆかりの地を巡りました。
コロナの関係で近場の三か所にとどめましたが、
探せばまだまだあるようです…と言っても暑かったので、
一日一か所でもだいぶ難儀しました…やれやれ。
「加藤清正ゆかりの地」のご紹介は、
以上とさせていただきます。 Thank you

本記事は史跡案内の内容ですが、
豆知識・知識補充の目的で書いております。
現在コロナ禍なので、旅行や観光、お出かけ等をお勧めするものではありません。

これをきっかけに ネット検索など利用して、
ステイホームで セルフの オンライン・ツアーなど
お楽しみいただければ幸いです。